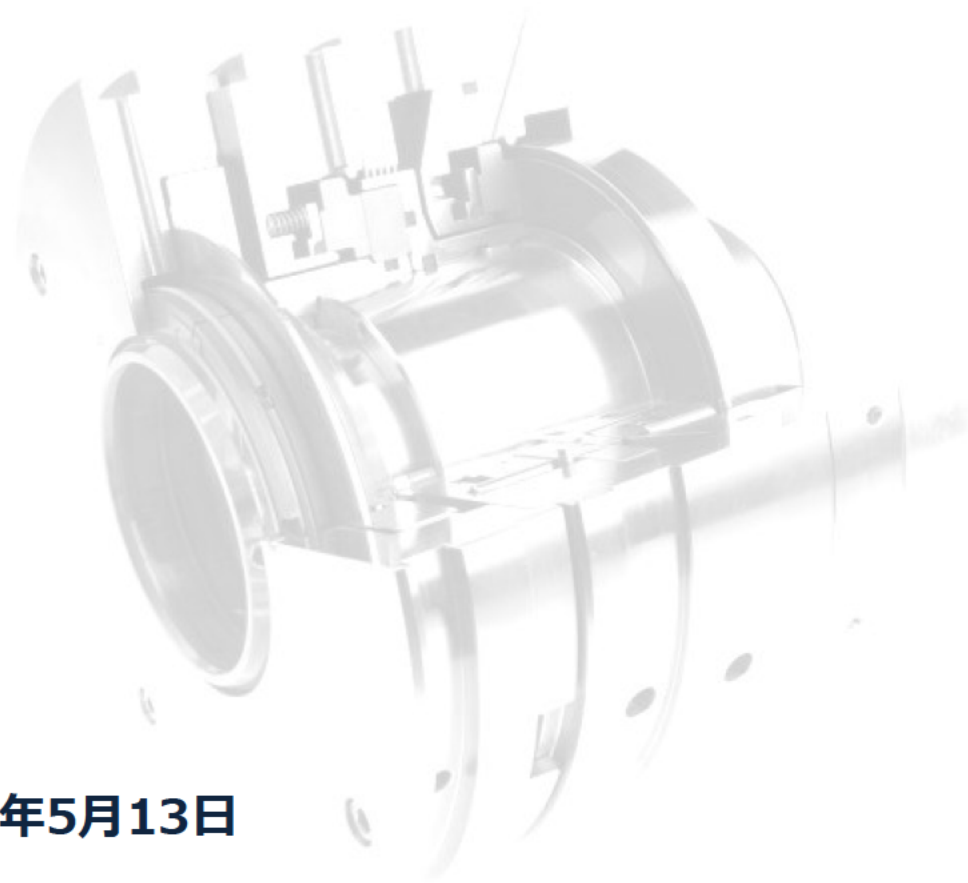


イーグル工業株式会社 2026年3月期 | 決算説明会

2026年5月13日



1. 26年3月期決算概要・27年3月期業績予想
2. 新中期経営計画の概要
3. 各セグメントの取り組み

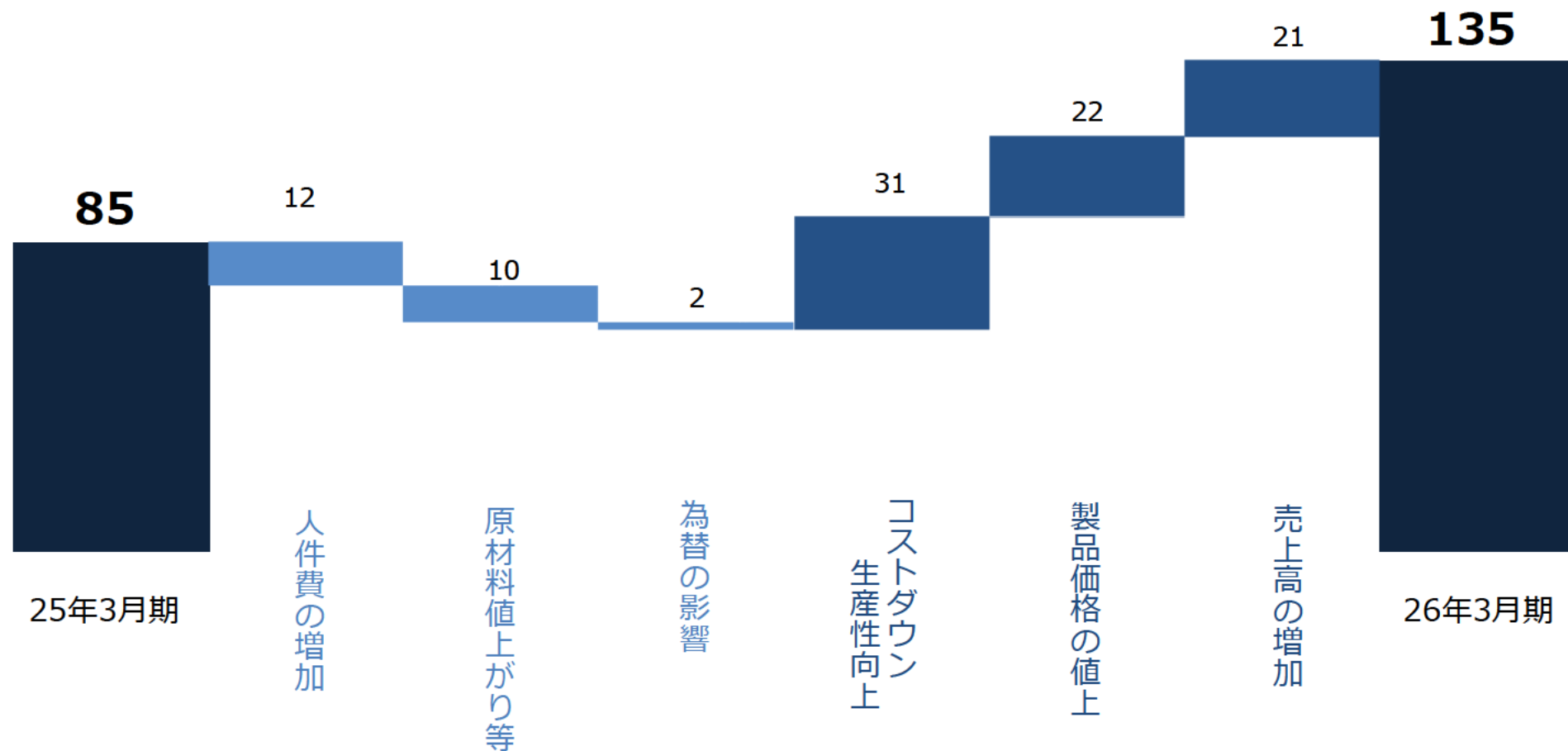
単位：億円

	25年3月期 実績	26年3月期 実績	前期対比	
売上高	1,682	1,775	93	106%
営業利益	85	135	50	159%
経常利益	120	172	51	143%
親会社純利益	49	98	50	202%

（平均実勢為替レート）

1ドル	152.6円	150.7円
1ユーロ	163.9円	174.6円

単位：億円



単位：億円

		25年3月期 実績	26年3月期 実績	増減	前期 対比
自動車・建設機械	売上高	876	933	57	106%
	営業利益	6	31	25	551%
一般産業機械	売上高	408	395	▲13	97%
	営業利益	54	57	4	107%
半導体	売上高	126	165	39	131%
	営業利益	▲38	▲12	26	—
舶用	売上高	180	195	14	108%
	営業利益	53	51	▲2	97%
航空宇宙	売上高	91	88	▲4	96%
	営業利益	10	7	▲3	68%
合 計	売上高	1,682	1,775	93	106%
	営業利益	85	135	50	159%

単位：億円

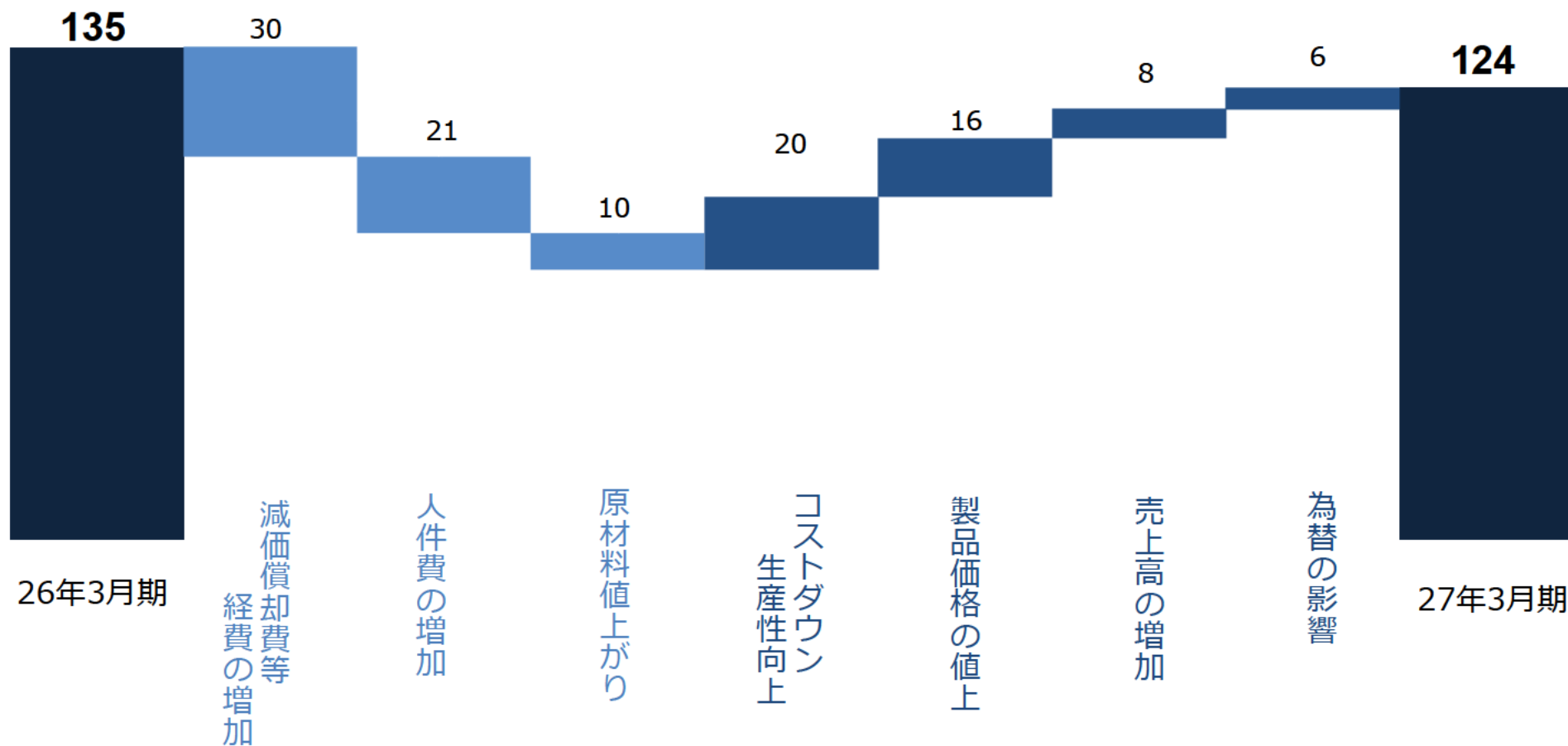
	26年3月期 実績	27年3月期 業績予想	前期対比	
売上高	1,775	1,880	105	106%
営業利益	135	124	▲11	92%
経常利益	172	158	▲14	92%
親会社純利益	98	95	▲3	97%

（平均実勢為替レート）

（前提とする為替レート）

1ドル	150.7円	155.0円
1ユーロ	174.6円	179.4円

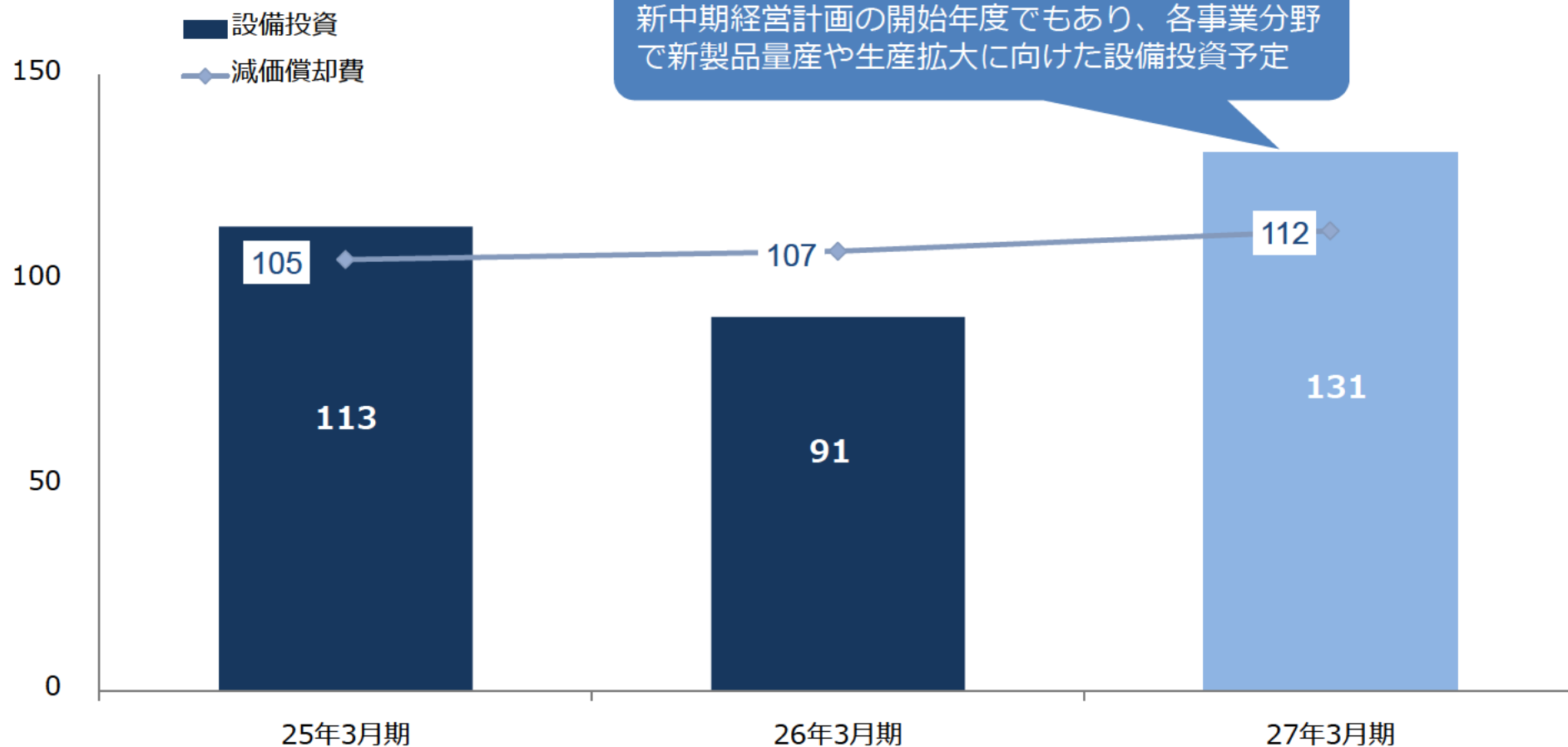
単位：億円



単位：億円

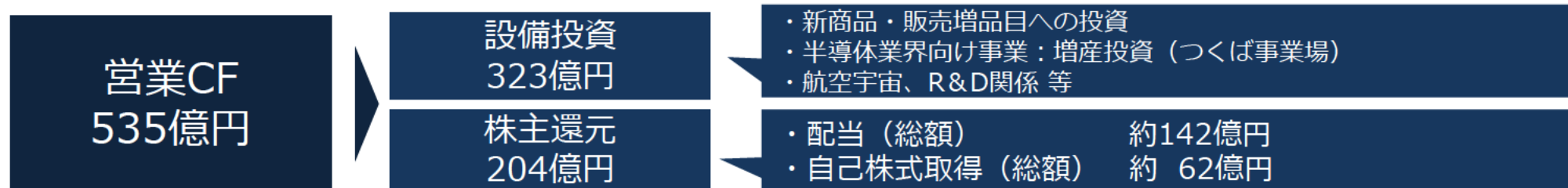
		26年3月期 実績	27年3月期 業績予想	増減	前期対比
自動車・建設機械	売上高	933	914	▲19	98%
	営業利益	31	12	▲19	39%
一般産業機械	売上高	395	450	55	114%
	営業利益	57	59	2	103%
半導体	売上高	165	200	35	121%
	営業利益	▲12	▲2	10	—
船用	売上高	195	209	14	107%
	営業利益	51	47	▲4	92%
航空宇宙	売上高	88	107	19	122%
	営業利益	7	8	1	115%
合 計	売上高	1,775	1,880	105	106%
	営業利益	135	124	▲11	92%

単位：億円



		24年3月期	25年3月期	26年3月期
一株当たり純資産	円	2,570.06	2,517.54	2,927.77
一株当たり純利益	円	160.84	107.51	216.75
一株当たり配当額	円	80	100	125
配当性向	%	49.7	93.0	57.7
DOE	%	3.4	3.9	4.6
ROIC	%	3.6	3.7	5.7
ROE	%	6.8	4.2	8.0

キャッシュアロケーションの実績（24年3月期～26年3月期）



将来の成長に向けた事業投資を進めるとともに株主還元も計画どおり実施

1. 26年3月期決算概要・27年3月期業績予想
2. 新中期経営計画の概要
3. 各セグメントの取り組み

主要推進項目

1. 変化への巧緻的対応
2. NOK/EKK統合シナジーの創出
3. 次世代製品の開発と事業化
4. 永遠のゼロ
「顧客から信頼される製品品質の確保」
「世界同一品質の確保」の実現
5. DX,TCD/ムダ半の深化
「Total Cost Down」
「ムダの排除～すべてを半分に」
による利益創出
6. 人間尊重/人財育成

計画目標（27年3月期～29年3月期）

- ・最終年度業容目標（29年3月期）
EKKグループで売上高 2,000億円以上の達成
全利益項目において最高益の達成
更なる資本効率性の向上
 - ・ ROIC: 7 %以上
 - ・ ROE : 9%以上

経営統合を踏まえた将来の目指す姿

当社グループ事業のオーガニック成長に合わせて
NOKとの経営統合によるシナジー創出を進め、
2031年度にNOKグループで売上高1兆円を目指す

有機材料から無機材料まで網羅した幅広いシーリング技術で市場をリードし、
より多くのステークホルダーから選ばれる企業を目指す



- ✓ 有機材料への技術的知見に基づくゴム・樹脂製品のラインアップ
- ✓ 国内自動車OEMに対するオイルシールの圧倒的なプレゼンス



- ✓ 無機材料（金属・セラミック等）のメカニカルシールの総合メーカーとしての技術的知見
- ✓ グローバル市場での幅広い顧客層

- ✓ 両社の技術・強みを融合し、素材横断で顧客ニーズに対応する複合的なシーリング・ソリューションを提供
- ✓ 半導体や熱マネージメント分野など、さらに高度化することが見込まれるシーリング性能への要求に対応できる技術優位性を発揮

次世代製品の開発・新規事業

- ・両社既存の開発品への更なる協業（一般産業機械分野、熱マネージメント、バッテリー関連）
- ・両社製品を組み合わせた新製品開発

R&D

- ・機能向上を企図した新材料開発の加速
- ・トライボロジーのノウハウの共有推進

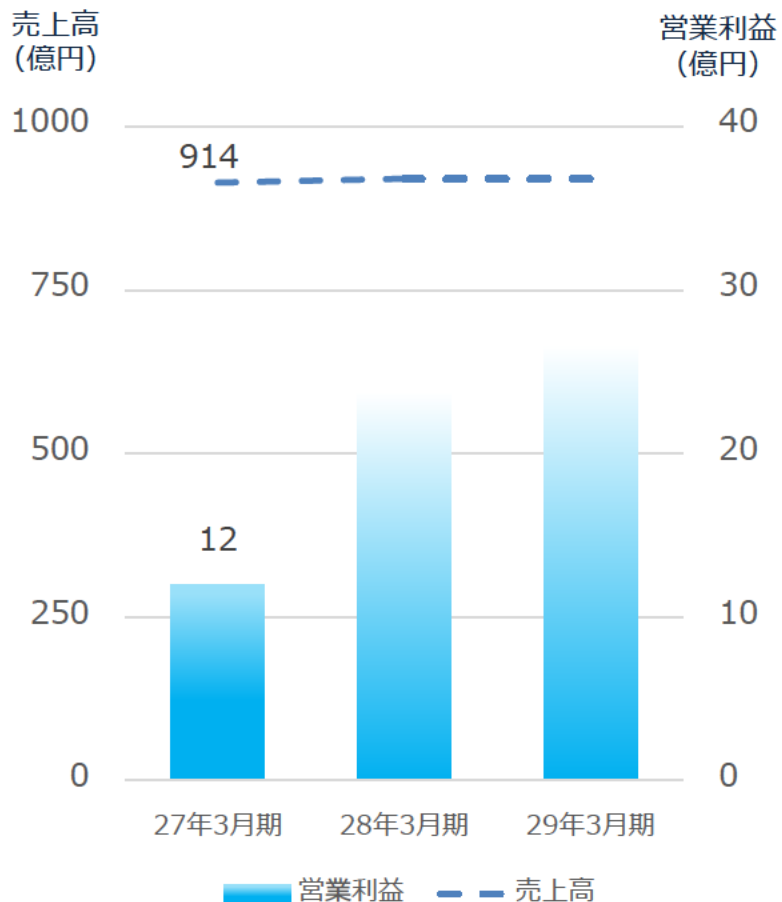
製造工程

- ・スマートファクトリーの拡大、多品種混合ラインの実現
- ・材料成型技術の最適化

技術分野においては相互のシール技術・R&Dの知見を活かし更なるイノベーションを目指す

1. 26年3月期決算概要・27年3月期業績予想
2. 新中期経営計画の概要
3. 各セグメントの取り組み

売上高・利益推移見通し



中期経営計画期間中の事業見通し

内燃機関機関向け従来製品の販売減により売上高は横ばい
新製品拡販と経営統合によるシナジー効果で増益を目指す

自動車の動力源に依存しない品目の開発と拡販

サスペンション用ソレノイドバルブ
→車両重量が増加するEV向け製品として採用拡大

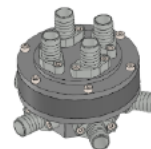


EV向け新製品の開発と拡販

e-Axle用製品：テクスチャメカシール (GlideX)
熱マネ用製品： LLC切替弁、カーボン軸受



GlideX

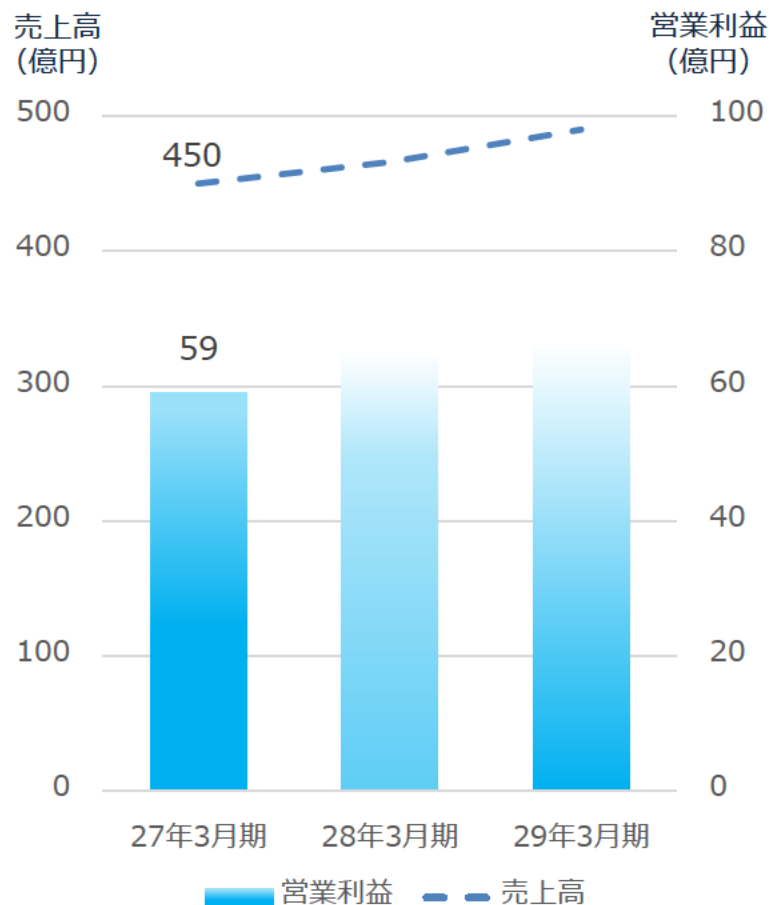


LLC切替弁



カーボン軸受

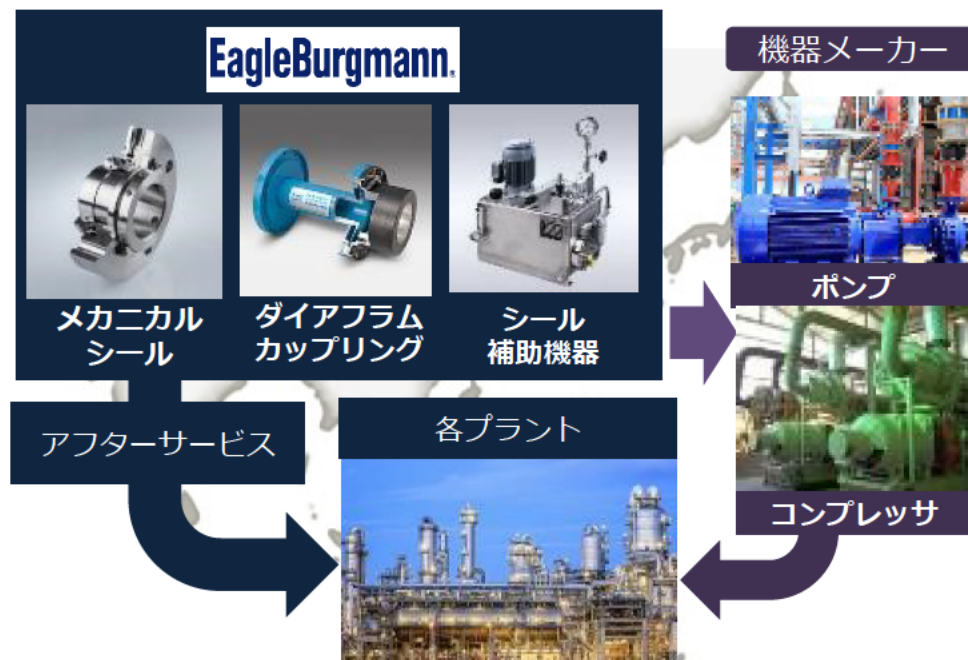
売上高・利益推移見通し



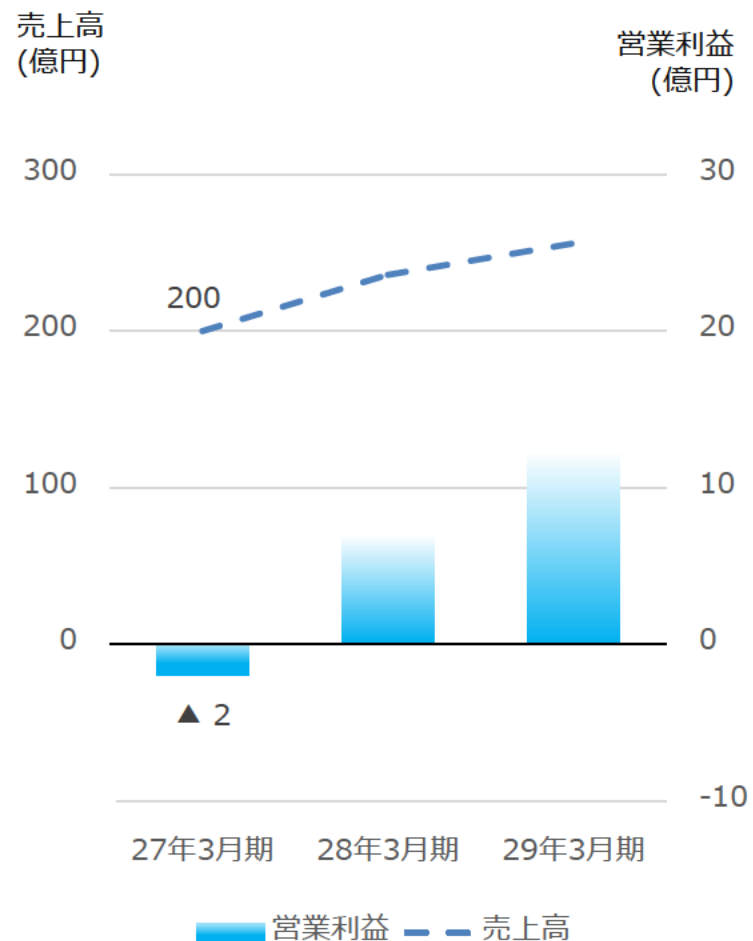
中期経営計画期間中の事業見通し

中東情勢の影響等リスク要因もあるがエネルギー需要増加を背景に500億円のビジネスに拡大見通し

一般産業機械業界向け事業のビジネスモデル



売上高・利益推移見通し



中期経営計画期間中の事業見通し

半導体業界の回復により今期以降販売拡大見通し
すでに投資分のつくば事業場本格稼働により250億円以上のビジネス拡大を進める

半導体業界向け事業 製品ラインナップ

磁性流体シール



半導体・液晶の
製造装置の真空
シール

高機能Oリング



弾力性とテフロン
耐薬性・熱安定性
を持つ合成ゴム

溶接金属ベローズ

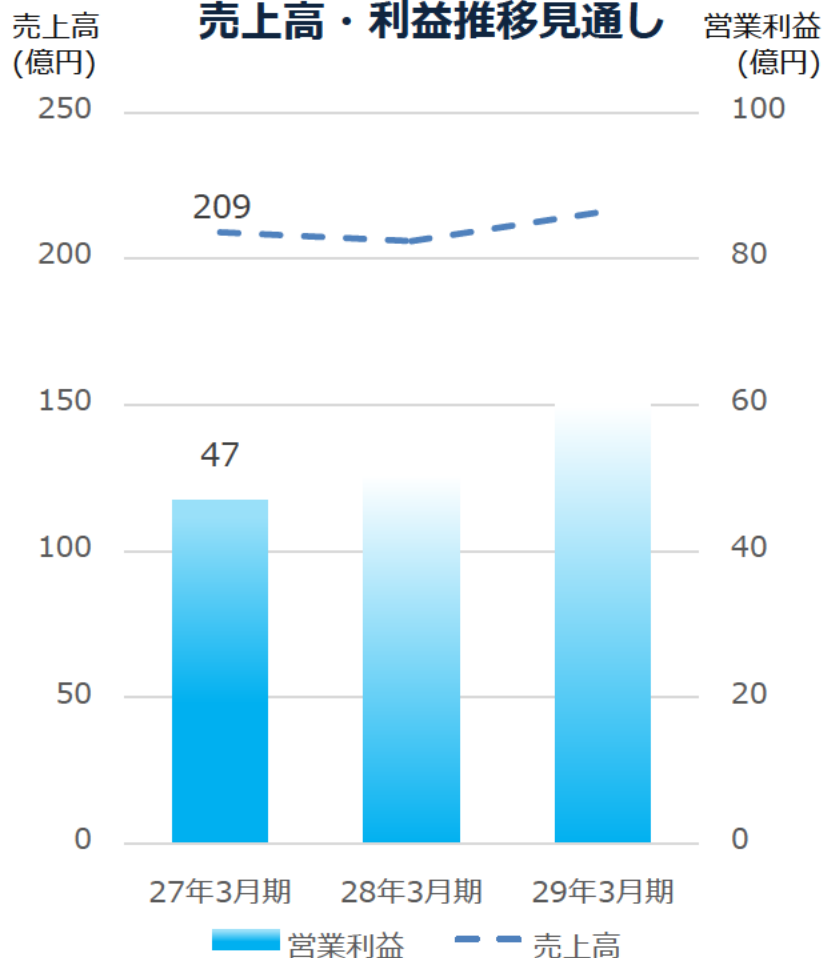


半導体・液晶パネル
製造装置用の往復
駆動部等に使用

ロータリージョイント



半導体ウエハの
研磨やラッピング
装置等に使用



中期経営計画期間中の事業見通し

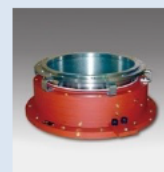
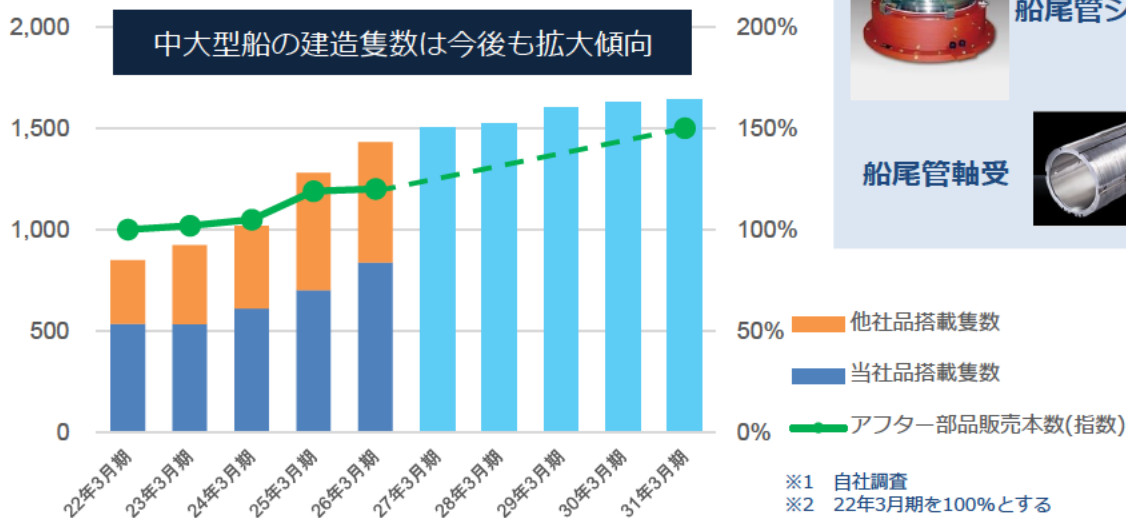
新造船建造隻数増加のため利益は横ばい見通し

将来のアフターサービス確保にむけて新規受注確保を継続

中大型船（1万トン以上）の船尾管シールトップシェアを活かし、さらなるビジネス拡大を図る

新造船建造隻数（※1）

アフター部品販売数（※2）

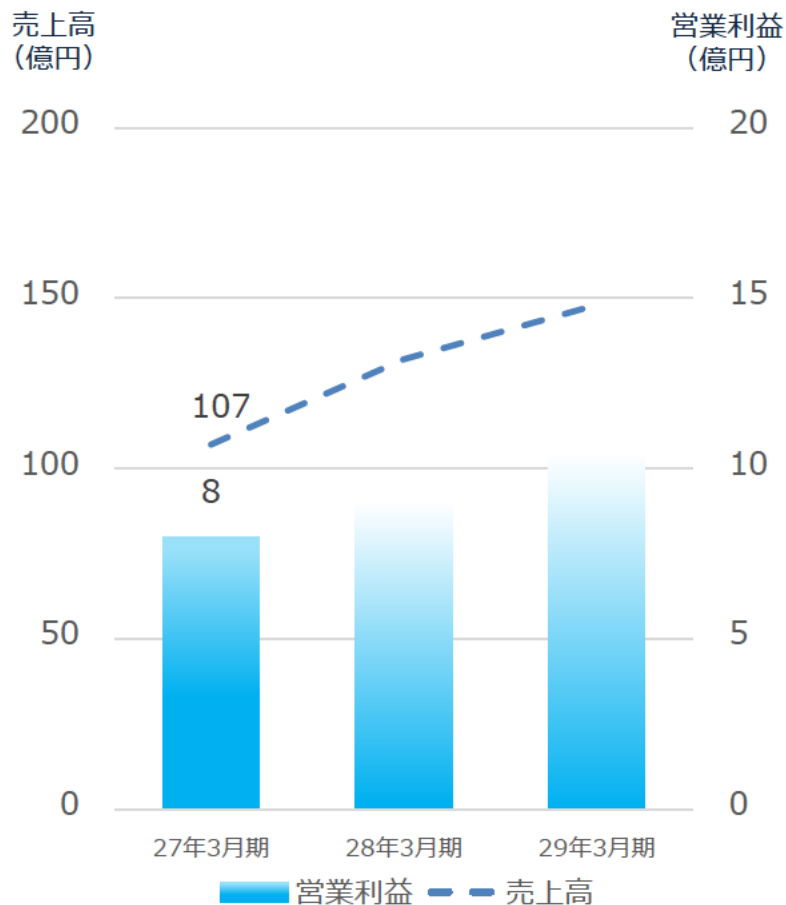


船尾管シール



船尾管軸受

売上高・利益推移見通し



中期経営計画期間中の事業見通し

防衛関連を含む航空機向け・宇宙産業向けともに拡大
150億円のビジネスに向けて増産拡販を継続

航空機向け製品

民間航空機

- 欧州の次世代エンジン開発に参画
- 海外エンジンメーカーからの量産引合増加



次期戦闘機イメージ
出典：防衛省ホームページ

防衛関連

- 防衛関連製品の生産拡大
- 防衛生産基盤強化法活用による生産性向上取組
- 次期戦闘機エンジンへの採用に向けて活動中

宇宙産業向け製品

国内宇宙プロジェクトへの参画



H3 7号機(2025年10月 打上げ)



HTV-X1
(新型宇宙ステーション補給機1号機)

宇宙戦略基金への採択

- 技術開発テーマ：高頻度打上げに資するロケット部品・コンポーネント等の開発
- 技術開発課題の名称：ロケットターボポンプ用シール量産化のための技術開発



Fly Sky High !